

第3次雲南市男女共同参画計画（案）に関するパブリック・コメント（意見募集）の結果及び意見・提案に対する市の考え方について

1. 公開した資料 第3次雲南市男女共同参画計画（案）
2. 意見募集期間 令和7年1月10日（金）～令和7年2月10日（月）
3. 資料等公開場所 市男女共同参画センター、各総合センター自治振興課及び市民サポート課、雲南市ホームページ
4. 意見提出者 1人
5. 意見提出件数 1件
6. お寄せいただいたご意見・ご提案と市の考え方

No.	提出されたご意見・ご提案	ご意見・ご提案に対する市の考え方
1	<p>そもそも「男女平等」に違和感を感じます。日本は古来から男女における役割があり、その文化を大切にしてきました。実際に子どもを産むのは女性にしかできないように、男女それぞれの役割があると思います。</p> <p>適齢期の女性が安心して、そして誇りを持って子どもを産んで子育てできる環境を作るのが最優先ではないでしょうか。男女平等を推進し、強引に女性も働くよう促してきたのも、子どもが減っている原因のひとつとなっていると感じざるを得ません。</p> <p>もちろん、働きたい女性はどんどん働けばいいですし、そこに必要なサポート体制は重要です。しかし、男女共同参画やLGBTQを推進し実行してきた国では、問題が多発しており、地域やコミュニティが崩壊している事例が多く見られます。</p>	<p>1999（平成11）年に制定された「男女共同参画社会基本法」において男女共同参画社会とは、男女が社会の対等な構成員として、自らの意志によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会と規定されており、男女共同参画社会の形成を総合的かつ計画的に推進するために、国、地方公共団体及び国民の責務を明示しています。</p> <p>そのため雲南市では、基本法及び国、県の基本計画に基づき、第3次雲南市男女共同参画計画を策定し、男女共同参画社会の実現に向け各施策を推進することとしています。</p>

<p>日本は本来、性差別などなく、多様性を自然と認め合う民族です。よって、わざわざ制度化や法令化する必要を感じません。ついでに、SDGsは主にヨーロッパ諸国の課題であり、日本には必要ないと考えます。日本におけるSDGsの課題は、江戸時代に全てクリアしていると言われている程です。</p> <p>歴史に基づく男女の役割を見つめ直し、本計画を見直して頂けると有り難いです。</p> <p>私の結論としては、男女共同参画は不要と考えます。</p> <p>なお、男女平等に活躍の場をつくるために、日々ご尽力されている行政の皆様には、いつも感謝しています。</p>	
---	--